

F+ 引火性がきわめて高い。



R-phrases

12 引火性がきわめて高い。

S-phrases

- 2 子供の手の届かない場所に保管する。
 23 ガス/煙/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
 51 換気のよい場所でのみ取り扱う。
 61 環境中への放出を避ける。特別な指示/安全データシート(SDS)を参照する。
 62 飲み込んだ時は吐かせてはならない。
 直ちに医師の診察を受け、医師にその容器またはラベルを見せる。

ラベリングのための有害成分

ブタン, プロパン

特定混合物のラベル追加要素のための特別な規則

加圧容器: 温度が50°C以上にならないようにして下さい。使用後も穴あけや加熱をしないで下さい。
 子供の手の届かないところに保管して下さい。
 裸火や白熱物質に直接スプレーを吹きかけないで下さい。
 着火源から遠ざけて下さい。 — 禁煙
 屋外又は換気の良い場所で可能な限り作業して下さい。

その他の危険

人と健康のための危険に関する特別な情報

本製品は蒸気と空気の混合物が爆発/引火を引き起こす可能性があります。
 眼への刺激性を引き起こすおそれがあります。繰り返し暴露することによって皮膚に刺激が生じます。

3. 組成、成分情報

混合物

危険な成分

CAS No.	EC No.	物質名	wt%	67/548/EEC による分類
67-63-0	200-661-7	2-プロパノール	ca. 2	F R11; Xi R36; R67
74-98-6	200-827-9	プロパン	10-20	F+R12
106-97-8	203-448-7	ブタン	40-50	F+R12
64742-48-9	265-150-3	炭化水素の混合物、脱芳香族化	< 10	Xn;R10-65-66-67

REACH

CAS No.	物質名	REACH 登録番号
74-98-6	プロパン	免除
106-97-8	ブタン	免除

概要

蠟質潤滑剤を溶剤に混入

噴霧剤: プロパン/ブタン

追加情報

なし。

4. 応急措置

応急措置方法

一般情報

衣類に付着した場合は速やかに着替えて下さい。
 衣類を乾燥させる場合は製品を完全に除去して下さい。

吸入した場合

- 新鮮な空気を確保して下さい。
- 安全な場所に移動して下さい。
- 症状が現れた場合は医師の治療を受けて下さい。

皮膚に付着した場合

- 皮膚に付着した場合、石鹸と水で洗い流して下さい。
- 有機溶剤を使用しないで下さい。
- 皮膚刺激が続く場合は医師に相談して下さい。

眼に入った場合

- 眼に入った場合は、多量の水で注意深く洗浄して下さい。
- 症状が現れた場合は、医師の手当てを受けて下さい。

飲み込んだ場合

- 無理に吐かせないで下さい。
- 気分が悪い場合は安全データシート又は製品ラベルを持って医師の治療を受けて下さい。

最も重要な急性、遅延性の症状

医師への情報 / 考えられる症状

咳, 頭痛

医師への情報 / 考えられる危険性

嘔吐後に誤嚥の危険性があります。

即時に処置が必要な徴候及び特別な治療

治療(医師へのアドバイス)

- 症状に適した治療をして下さい。
- 皮膚炎を予防するために保護クリームを使用して下さい。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

泡、粉末、二酸化炭素、霧状の水

安全上の理由より使用してはならない消火剤

棒状噴射の水

物質または混合物から生じる特別な危険性

有機物の火災ガスは呼吸毒として分類する必要があります。

消防士に対する保護器具等

自給式空気呼吸器を使用して下さい。

追加情報

- 火災の危険にさらされた容器は霧状の水で冷却して下さい。
- 長期間加熱された場合は爆発の危険があります。
- 汚染された消火用水は排水に流さずに、分けて回収して下さい。

6. 漏出の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の手順

- 換気を十分に確保して下さい。
- 着火源を遠ざけて下さい。
- 目や皮膚との接触を避けて下さい。

環境への予防措置

- 排水、地下水、河川等に流出させないで下さい。
- 広域への拡散を防止して下さい。(例: 油障壁, コンテインメント)
- 霧状の水でガス, 蒸気, ミストを抑制して下さい。

封じ込めのための道具と方法及

作業場を十分に換気して下さい。

回収、又は廃棄物は適切な容器に入れて下さい。

吸着性のある物質(例:汎用バインダー)で残留物を取って下さい。

追加情報

廃棄のための情報は項目13を参照して下さい。

他の項目への参照

利用可能な情報はありません

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

十分な換気を確保するために、換気が十分な作業場であっても必要に応じて局所排気装置を使用して下さい。

火災や爆発に対する予防措置

着火源に近づけないで下さい。-禁煙

製品は可燃性です。

蒸気は空気と混合することによって爆発性の混合気体を形成します。

火の近くでは破裂によって火災の拡大や怪我の危険性があります。

混触禁止物質を含む安全な保管条件

保管所と容器への規定

元の製品容器に密閉して保管して下さい。

階段や通路に保管しないで下さい。

混触禁止物質に関する情報

酸化剤, 自己可燃性物質と同じ場所に保管しないで下さい。

保管状態に関する追加情報

容器はしっかりと閉めて下さい。

換気の良い冷暗所に保管して下さい。

熱や直射日光から避けて保管して下さい。

乾燥した場所に保管して下さい。

涼しい場所に保管して下さい。

製品に熱が加わると圧力が増加して爆発の危険性が増加します。

貯蔵安定性に関する情報

保管時間 24ヶ月

Storage group 2B

Fire Class B

特定の最終用途

利用可能な情報はありません。

8. 暴露防止及び保護措置

制御パラメーター

追加情報

この情報は有効性のある文献を基にしました。

暴露制御

呼吸器の保護

状況に応じて適切に使用して下さい。

手の保護

適切な手袋の素材の選択は、材料以外に品質についても考慮して下さい。

複数の物質からなる調合剤であるため、手袋に使用されている材料の耐性を予め決めることはできません。

そのため、製品を使用する前に手袋の耐性を必ず確認して下さい。

長期間及び繰り返し皮膚に接触する場合はPVC手袋を着用して下さい。

ニトリル手袋

眼の保護

飛沫する場合は保護眼鏡

皮膚の保護

一般的な化学工業用の作業服

一般保護対策

眼や皮膚との接触を避けて下さい。

エアロゾルを吸入しないで下さい。

適切な衛生対策

製品に汚染及び付着した布はズボンのポケットに入れてしないで下さい。

作業場での飲食、喫煙、薬の服用は禁止して下さい。

化学製品を取り扱う際の一般的な産業衛生規則を遵守して下さい。

製品が付着した衣類は直ちに脱いで下さい。

換気の良い場所で作業して下さい。

飲食物から遠ざけて保管して下さい。

保護クリームを使用して下さい。

システム設計上の追加情報

製品をスプレーすることによって発生するエアロゾルを吸入しないで下さい。

9. 物理的及び化学的性質

基礎的な物理化学性状

形状
エアロゾル

色相
無色透明

臭い
ガソリンに近い

重要な健康、安全及び環境に関する情報

	値	試験方法	備考
pH	適用外		
沸点範囲	適用外		エアロゾル
引火点	< 0°C		有効成分 + 噴霧剤
引火点	12 °C		有効成分
自己発火性	不明		不明
蒸気圧 20°C	2400 – 3000 hPa		エアロゾル缶の圧力
密度 20°C	0.615 – 0.63 g/cm ³		有効成分 + 噴霧剤
水への溶解性	難溶		
ちょう度			NLGI 1-2
爆発性			

使用前、使用後であっても引火性混合物として危険性があります。

50°C 以上に加温された場合は爆発する危険性があります。

その他の情報

蒸気は空気より重い
可燃性液体

10. 安定性及び反応性

反応性

利用可能な情報はありません。

化学安定性

利用可能な情報はありません。

危険性のある反応

利用可能な情報はありません。

避けるべき条件

エアゾル製品のため温度が上昇した場合には容器が爆発する可能性があります。
引火点以上に加熱された場合、又は霧状及びミスト状になっている場合は、空気中で可燃性混合物を形成する可能性があります。

避けるべき物質

強酸化剤との反応

危険な分解生成物

適切な保管及び、取り扱いをしている場合は特にありません。

熱分解

仕様書通りに使用すれば分解しません。

11. 有害性情報

毒性影響に関する情報

急性毒性/刺激性/感作性

	値	生物	備考
LD ₅₀ 急性毒性 経口			確定していない。
皮膚刺激		刺激性を引き起こす可能性がある。	長期又は繰り返し接触する場合
眼への刺激性		刺激性を引き起こす可能性がある。	飛沫が眼に入った場合
感作性		感作性は知られていない。	

使用上の経験

アレルギー性の症状がある場合は、感作性が生じる可能性があります。
乾燥している時に繰り返し皮膚や眼に接触した場合、刺激性を引き起こす可能性があります。

追加情報

利用可能な毒性情報はありません。
本製品は **directive 67/548/EEC**(従来法)の判定基準を基に分類しました。

12. 環境影響情報

毒性

環境への影響

	値	試験方法	検証
魚			確定していない

残留性と分解性

生分解性

確定していない

生物濃縮の可能性

製品は試験していません。

製品の密度と水への低い溶解性からバイオアベラビリティはありません。

製品は水に溶解することではなく、エマルジョンを形成することはありません。

土壌中の移動性

利用可能な情報はありません。

PBT 及び vPvB の評価結果

利用可能な情報はありません。

その他の悪影響

下水処理場

本製品を地域の条例に従って処理する前に、廃水に流さないで下さい。

一般的な規制

本製品の漏出物が環境中に流出しないようにして下さい。

利用可能な毒性情報はありません。

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

製品の推奨

各地域の法規制を遵守して下さい。

容器の推奨

完全に空になった包材は再利用できる可能性があります。

中身が入っているエアロゾル缶は GGVSEB に従った換気装置のある容器に入れて収集、及び運送して下さい。

各地域の法規制に従ってワンウェイ容器を廃棄して下さい。

一般情報

EWC 規則は、同じ廃棄物でも発生源によって異なった規則が適用されることがあります。そのため、最終利用者が廃棄物を正しい分類で処理する責任があります。

14. 輸送上の注意

陸上輸送 ADR/RID

UN 1950 エアロゾル, class 2.1, (D), 分類コード: 5F

少量の場合は考慮されません。

海上輸送 IMDG

UN 1950 エアロゾル, class 2.1

ラベリング: エアロゾル, UN 1950

航空輸送 ICAO/IATA-DGR

UN 1950 エアロゾル, 可燃物, class 2.1

UN-4G/Y ダンボール箱が必要

使用者のための特別な注意事項

利用可能な情報はありません。

Annex II of MARPOL 73/78 and the IBC Code によるバルク輸送
利用可能な情報はありません。

15. 適用法令

物質または混合物のための安全、健康、環境の特別な法律/規制
VOC 標準

VOC 含有量: 95.7%

国際規制

その他の法令, 制限, 禁止規則

Take note of: TRG 300 "Aerosole" (GER)

Water hazard class: 1 Mixture-WGK according to VwVwS (GER) preliminary

Decree for case of interference/ remarks Annex I, No. 11

化学物質安全評価

利用可能な情報はありません。

日本の法律

消防法

危険物第4類第1石油類

その他、お使いの地域における地方条例等の法規制等にも注意して下さい。

16. その他の情報

訓練方法

この SDS を参照して下さい。

使用と制限の推奨

国内, 国外に関する化学物質の法規制を遵守して下さい。

警告情報を遵守し指示に従って使用して下さい。

追加情報

本SDSにある情報は、現在知りうる知識を基に、安全の観点から当該製品について述べたものです。

本紙は製品の特性を保証するものではありません。

Product information を参照して下さい。

本製品の全ての原料は TSCA に登録されています。

情報源

原料の SDS

項目3において記載された R/H-phrases の表現(製品の分類ではない)

R10 引火性である。

R11 引火性が高い。

R12 引火性がきわめて高い。

R36 眼を刺激する。

R65 有害: 飲み込むと肺障害を引き起こすことがある。

R66 暴露の繰返しにより皮膚の乾燥あるいはひび割れを引き起こすことがある。

R67 暴露の繰返しにより皮膚の乾燥あるいはひび割れを引き起こすことがある。

記載内容の問い合わせ先

会社名 フックスジャパン株式会社

住所 三重県伊賀市大内字三郎谷408-3

担当部門 技術部

電話番号 0595-20-1114

ファックス番号 0595-20-1056

改訂履歴

作成 2014年 6月18日(翻訳)

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発見や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定事項にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また注意事項等は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

また、現場責任者は取扱いについて十分に現場作業の方へ教育を行って下さい。

本SDSは、輸入先の英文SDS (gleitmo 300 SPRAY: Revision 01.08.2012 (GB) Version 2.0)を元に作成しております。

日本の消防法については記載をしていますが、その他の日本の法規制には対応しておりません。